

名張市教育センターだより 第8号

平成28年9月9日(金)発行

# 創る

〒518-0485

三重県名張市百合が丘西5番町25番地

<http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/>



事務室・教育よろず相談 1F

Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802

E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.mie.jp

minakuru01@nabari-mie.ed.jp

適応指導教室(さくら教室) 2F

Tel 0595-63-7830 Fax 0595-63-7830

E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

学校ボランティア室 1F

Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802

# 実りある2学期に向けて!

教育センターでは、夏季休業中に教育講演会を含み15講座の研修講座等を開催し、1073人の方の参加がありました。(昨年度16講座878人) アクティブ・ラーニングを視野に入れた研修も多く、参加者どうしが学び合う姿も多く見られ、校種等をこえての交流も進んだように感じました。また、研修講座を校内研修の場として位置づけて参加いただいた学校もありました。夏季研修で学んだことを日々の教育実践に活かしていただき、子どもたちにとって実りある2学期になることを期待しています。

## 国語授業のユニバーサルデザイン —教材にしかけをつくる国語授業「10の方法」— 7月25日(月)

講師：桂 聖(筑波大学附属小学校教諭)

全ての子どもがわかる授業を質、レベルを落とさずに組み立てる方法を教えていただきました。

しかけの具体例として

・順序を変える・選択肢を作る・置き換える・かくす・加える・限定する・分類する・図解する・配置する・仮定する・・・等を実践を交えてお話いただきました。

「2学期の授業に向けて『しかけ』を考えます！」という受講者の声も聞かれました。

## 課題研究発表&週末教育事業体験 7月26日(火)

講師：教育専門員 藤岡正則

CST 瀬川和之(薦原小学校教諭)

CST 松井伊都子(北中学校教諭)

「使いやすく、楽しい理科室経営」のための整理術や展示物の工夫について松井CSTよりお話がありました。

週末教育授業体験では「シマフムラサキツユクサ」の葉を使った観察を行い、スマートフォンで撮影するなど、授業で取り入れたい技をたくさん教えていただきました。



## 平成27年度課題研究・プロジェクト研究発表

### 「活用する力を育む国語の授業づくり～問題づくりを通して～」 8月1日(月)

講師：森 恭一(蔵持小学校教諭) 岩垣淑美(蔵持小学校教諭)、井岡あずさ(桔梗が丘小学校教諭)

福森 慎(すずらん台小学校教諭)、中島哲士(梅が丘小学校教諭)

福岡真由美(名張中学校教諭)、濱田博之(赤目中学校教諭)

活用力を育むための問題づくりの方法を学んだ後、「すがたをかえる大豆」を教材に問題づくりの体験をしました。参加していただいた先生方から「問題づくりを切り口に、授業の組み立て方、発問のしかた、教材研究まで深めることができました。」「自分自身が話し合いをして問題を作成できたことがよかったです。2学期より子ども達と一緒に取り組んでいきたいと思いました。」という声をいただきました。昨年度作成した問題シートは「平成27年度研究集録」として各学校に配付しています。また、職員全体フォルダ内にも「H27 プロジェクト研究国語科問題シート」があります。ご活用ください。 \*貸出用DVDがあります。



## 算数授業のユニバーサルデザイン

8月5日(金)

講師：久木田雅義（関西学院初等部教諭）

ユニバーサルデザイン化するための「目を向ける5つの“S”」について教えていただきました。

- ① Share（共有）
- ② Simple（簡潔）
- ③ Structure（構造）
- ④ Small Step（小段）
- ⑤ Stack（積み重ね）

「児童理解」と「教材研究」等、授業づくりになくてはならないことを改めて再認識することができました。

\*貸出用DVDがあります。



## 「やっぱり子どもが好き」から始める学級経営 ～魁・殿教師と凸凹のある子ども達～

8月8日(月)

講師：金大竜（大阪市立千本小学校教諭）

「子どもたちの行動に目を向け、立ち止まり、『なぜ』なのかを考える、具体的に5回考える」等、子どもに寄り添う指導の大切さを改めて考える機会となりました。

「さきがけ(リーダーシップ)」「しんがり(フォロワーシップ)」どちらも大切に、一人ひとりの凸凹に寄り添う学級経営をしていこう！と1学期の実践を振り返り、2学期へのエネルギーをいただいた講座でした。

## クラスが変われば子どもが変わる

～クラス会議の実際～

8月9日(火)

講師：但馬淑夫（名張市立桔梗が丘東小学校教諭）

クラス会議は、「短時間で無理なく続けられる」

「特別な準備がいらぬ」

毎日通う学校だからこそできる取組であることを教えていただきました。また、実際に体験し、クラス会議の大切さ、有用性を感じることができました。「子ども



たち自身が議題を出して解決する方法がよいと思いました。」「お話の中に学級経営のヒントがたくさんあり、2学期また頑張ろうと勇気もらえました。」という参加者からの声をいただき、有意義な時間となりました。

\*貸出用DVDがあります。

## ぱりっ子わくわくキャンプで学ぶ野外活動

8月16日(火)～17日(水)

キャンプ第1日目は、山歩きやフィールドアスレチック、キャンプファイヤー、第2日目は雨が心配されましたが、野外炊飯場で、焼きそば・棒パン作りを行いました。いずれの活動にも、参加いただいた教員やボランティアの学生が子どもたちを見守りながら一緒に活動し、安全に過ごすことができました。二日間通して、子どもたちが精一杯取り組む姿、友だちを励ます姿が見られました。

「5年生で取り組む野外活動が楽しみ！」と話をしながら帰路につきました。



## 発達障害の子どもをつつむクラスづくり～二次障害やいじめへの対応～

8月18日(木)

講師：松久眞実（プール学院大学准教授）

昨年度に引き続き、松久先生に来ていただき研修を行いました。本年度は「いじめへの対応」を中心にお話をさせていただきました。クラスをあたためる手だてとして①グループでの役割分担（隊長・いやし隊・海猿隊・言い隊）②月に1回 いじめアンケート（実態把握）③いじめのスマールステップ（自分を見つめ直し、どうなりたいかを考える）④先生に相談したいときは連絡帳にサイン等の紹介をしていただきました。クラスの中のしんどい子だけではなく、どの子にも通じる手だてを教えていただくことができ、有意義な研修となりました。





## これからの小学校及び、中学校における外国語教育はどう変わるか

8月22日(月)

講師：直山木綿子（文部科学省 初等中等教育局

教育課程課・国際教育課外国語教育推進室調査官）

ピーター・リチャードソン（アルティアセントラル 教育プログラム担当）

次期学習指導要領の目標をわかりやすく解説していただき、2学期以降授業で具体的に何をすればよいか考えることができたお話でした。難しく感じていた外国語活動でしたが、子どもたちの意欲を高める「ほめことば」をたくさん使うことでハードルが下がったように感じました。また、Hi Friendsや補助教材の活用の仕方についてもていねいに教えていただき、これからの授業に生かしていきたいという声をたくさんいただきました。



## ケースカンファレンス

8月26日(金)

講師：山田 忍（臨床心理士）

事例検討として、適応指導教室（さくら教室）相談員 高橋佳津代さんより、さくら教室のケースや活動の様子、利用状況について提案いただきました。その後、そのケースについてみなで意見交換し、研修を深めました。最後には、山田カウンセラーから検討した内容についてアドバイスをいただきました。2学期からの実践に活かすことができる研修会になりました。

## 0(ゼロ)から学べる学級経営と時間術

8月25日(木)

講師：長瀬拓也（同志社小学校教諭）

「学級づくりと時間術はつながっている。これをふまえて、仕事に軽重をかけ、時間設定をしながら仕事をしよう。」というお話をしていただきました。学級を豊かにするための時間術10の視点を教えていただき、具体的に2学期からの仕事について考えながら講演を聞くことができました。



\*貸出用DVDがあります。

## コーディネーション運動を取り入れた体育の授業作り

8月23日(火)

講師：濱野修二（紀州教育支援事務所充指導主事）

実際に体を動かし体験しながらコーディネーション運動について学びました。「運動が苦手な児童が体育に早く来るようになった」「片付けがきちんとできるようになった」といったお話をしていただき、コーディネーション運動の有用性について再確認する時間となりました。実践的な指導力の向上をめざすとともに、参加者も快い汗を流すことができました。



# ふるさと学習「なばり学」名張市内フィールドワーク

8月26日(金)

講師：谷戸 実（薦原小学校校長）  
門田 了三（文化生涯学習室 嘱託員）  
藤本 佐利（社会同和教育指導員）

毎年恒例の「名張市内フィールドワーク」ですが、本年度は「オキツモ（株）」「徒歩での散策」を加え、充実した研修となりました。名張の見どころを紹介します。

## 名張市郷土資料館



子どもたちが体験して学べる施設もあり、歴史の勉強などで使えたと感じました。



職員の方や藤本佐利さんのお話から、部落問題について考えるきっかけとなりました。

## 一ノ井市民センター・児童館



## やなせ宿

## 江戸川乱歩生誕地

## 名張藤堂家邸

徒歩にて散策をしました。「ひやわい」を通り、酒屋さん、お菓子屋さん、城下川、寿栄神社・・・と町並み、風景を楽しみました。



普段何気なく通り過ぎている所でも、入ってみたらこんなにも勉強になる内容を秘めているのかと驚きました。名張の魅力を伝えていきたいと思いました。

## 夏見廃寺展示館



仏像の「らほつ」を歴史の学習をしている児童に見せると面白いと思いました。

## オキツモ（株）ショールーム



オキツモさんのような企業があることも初めて知り、歴史的な古き良き文化と今後の可能性を感じる事ができる学習でした。